

(様式3)

事業所名 グループホームのざわ愛の郷

ユニット名 A棟・B棟

作成日: 令和 5年 7月 22日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	利用者様のADLの変化もありできる事、したいことに対し、できないことやできなくなって来たことにばかりが目についてしまいがちな面が出てきている。利用者様の意欲低下につながるよう前向きなとらえ方を職員がしていく必要が出ています。	「今日も一日楽しかった」と思えるようになる。	・一人ひとりの興味のあること、できる事、手を貸せばできる事、やりたいと思っていることに目を向ける。 ・心が前向きになる声掛けをする。 ・意欲と自信につながる声掛けと支援をする。	12ヶ月
2	27	開所し3年目を迎え歩行状態の低下がみられ、自分の足につまずいて転んだりする転倒事故が増えている。 ～だろう このくらい大丈夫だろうという職員の自己判断で転倒リスクをたかめていることがある。	「小さな変化を共有し声掛け、見守り、付き添い」をする。	・一人ひとりの小さい変化に気づき職員間で情報の共有を徹底する。 ・転倒を防ぐために日々の体操の継続 ・歩行状態の様子を面会時や電話でこまめに家族に報告し様子を共有する。 ・行動把握をして静止するような声掛けをしない	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月